

若葉ゆめの園通信

発行日：2020年10月12日
 編集&発行：若葉ゆめの園広報
 電話：03-3935-5780
 FAX：03-3935-5790

No. 031

3階一、二丁目

女性のご入居者様はネイル、男性のご入居者様は足湯を楽しんでいただきました。女性のご入居者様は、12色の中からご自身で色を選んでいただきました。濃いピンクがとても好評でした。爪に塗ると「綺麗ね」と笑顔が見られ綺麗になった爪を眺めておられました。男性の入居者様は、入浴剤を入れた足湯とともに足つぼマッサージを行いました。最近、肌寒くなった為か、気持ちよさそうな表情をされながらマッサージをお受けられました。



4階三、四丁目

9月12日に「どら焼きづくり」を行いました。ご入居者様にもお手伝いをして頂き「あんこ」を小分けに分けて頂きました。また、食べる前にも「あんこ」とホイップクリームを入居者様ご自身で生地に挟んで頂きました。ご入居者様に好評で「もう一つ食べたい」と仰る方もいらっしゃいました。入居者様同士談話も弾み笑顔が沢山見られました。



清秋の候

拝啓、澄み切った秋空が清々しい季節になって、できることなら思いっきりスポーツをしたり、コンサート、旅行にいきたいところですが、コロナ禍ではなかなかそうもいかないのが寂しいですね。また、日増しに秋の深まりを感じるようになりましたが、体調管理には本当に気をつかいます。皆様はいかがお過ごしでしょうか。さて、窓越し面会を開始致しました。インターネットよりはご安心され、ご好評いただいておりますが、これから寒さを迎える中、更なるご面会の在り方を検討してまいりますので今後とも何卒よろしくお願い致します。



9月13日 女性は赤いちゃんちゃんこ、男性は黄色のちゃんちゃんこを着ていただき写真撮影を行いました。日頃、笑顔の少ない入居者様がちゃんちゃんこを着ると、笑顔が見られとても印象的でした。105歳を迎えられたご入居者様もお祝いできたので、とても良かったです。今回撮影した写真は、10月にはがきに添付しご家族様に郵送したいと思います。

2階三、四丁目お散歩



窓越しご面会 開始



3階三、四丁目 敬老会

ご入居者様、各代表者に色紙をプレゼントをさせて頂きました。大きな声で「嬉しい！ありがとうございます！」という感謝の言葉をいただきました。その後は一人おひとりに来年の卓上カレンダーをプレゼントしましたが「嬉しいまだ生きてよかった〜」「ありがとう大事にお部屋に飾るからね」等と喜びのお言葉を仰られていたことが印象的です。

また、職員・利用者全員で昔の懐かしの歌を4曲ほど合唱しその後、おやつを召し上がられました。敬老会が終わっても、おやつ中に笑顔で合唱で歌った曲を歌っている方が数名おられたり、プレゼントをじっと見つめられ「かわいいね〜」などと仰られており、敬老会を楽しんでいただけたんだと感じました。



2階一、二丁目

フロアの廊下に貼る装飾をご入居者様にさせて頂きました。①「ようこそ楓町へ」の文字を切り取る②折り紙をちぎる③ちぎった折り紙を貼る作業に取り組んで頂きました。折り紙にのりを塗る人、それを貼る人とご自分達で分担して行っており、皆様集中して自らの役割をこなしていました。色合いを考えて、同じ色が隣り合わせにならないように貼ろうと苦戦している場面も見られ



ました。完成を見て「素敵ね」「かわいいね」等の声が聞かれました。

4階一、二丁目

9月18日に金魚すくいを行いました。夏祭りも開催されず季節感を味わっていただく事と腕のリハビリも兼ね楽しい時間を過ごして頂こうと金魚すくい大会を実施いたしました。ご入居者様の笑顔を見た際に職員の想像よりも楽しんでいただいております。中には、子供の時にやったと懐かしいと話されておりました。終了後に職員が高得点の方に造花の花束を贈呈し笑顔が弾けておりました。



1階ショートステイ

第6回目のお菓子作り教室はできたてチーズタルトを作りました。デモンストレーションを行ってから利用者様に作業を始めていただきました。工程はクリームチーズに砂糖、卵黄、牛乳、薄力粉をふるい入れてその都度順番に混ぜます。カップにクッキーを砕き入れた上に、生地を流し入れ、レンジで約50秒ほど加熱して温かいうちにスプーンで召し上がっていただきました。真剣に混ぜる利用者様や「美味しそうだねえ」と仰りながらカップに生地を入れたり、レンジで加熱したときに「甘いおいがする」と仰られるなど楽しまれている様子で、「美味しいわ」と喜ばれておりました。



9月駅弁・郷土料理

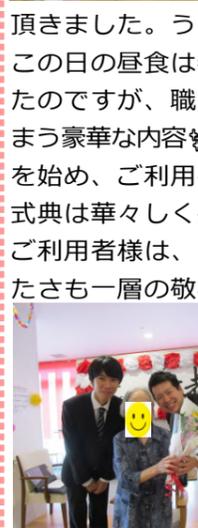
ソースかつ丼は、ご飯の上に千切りキャベツを敷き、その上に秘伝のソースにくぐらせた「カツ」を載せた丼です。かつ丼と言うと「卵でとじたかつ丼」ですが、かつ丼の歴史を紐解いてみると、最初の「カツ丼」は「ソースで味付けをしたカツ丼」だという事がわかります。大正10年早稲田高等学院生・中西氏がソースかつ丼を考案。学校周囲の食堂で学生をターゲットとしたメニューとして広まり、そこから全国へと広まったと言われていいます。更に平

成5年には県内に「駒ヶ根ソースかつ丼会」が発足し、いっ

その普及に力をいれています。9月18日米子駅「大山おこわ弁当」おこわは、しょうゆ味で鳥取県産のもち米と大山どり・人参・ごぼう・椎茸・栗・銀杏、おかずには、長いもと紅ズワイガニの磯辺揚げ・とりつくね串ねぎ入り、とうふ、竹輪などなど、地元の味がぎゅーりて楽しめます。大山おこわは鳥取県西部に古くから伝わる郷土料理で大山の僧侶たちが食していた、しょうゆ味のおこわが家庭に入り変わっていったと伝えられています。



デイサービス



9月は、デイサービスの一大イベント《敬老会》を開催しました！。ご利用者皆様のご健勝とご長寿を祈り、日ごろの感謝を込めてお祝いさせて頂きました。うなぎご飯に天ぷらの盛り合わせ・・・この日の昼食は特別メニューのお祝い御膳をご用意したのですが、職員も思わずつまみ食いしたくなってしまふ豪華な内容！我慢するのが大変でした！賀寿の方々を始め、ご利用者皆様に花束や記念品を贈呈し、式典は華々しく盛り上がりました。若葉デイ最高齢のご利用者様は、なんと今回で「百寿」を迎えられ、めでたさも一層の敬老会となりました。敬老会は、私たち職員に「この仕事をして良かった。」と毎年思わせてくれる大切な催しです。今年も皆様と敬老会が行えたことを心よりうれしく思います。

